

総合計画等協議会（4/11）での主な意見一覧

No.	区分	項目	意見概要	対応/理由
1	はじめに～まちづくり構想	全体	総合計画に対する若年層の関心を高めるために、総合計画をわかりやすく説明する動画を作成し公開してはどうか。現在の 尼崎市総合計画読本 のようなものの作成を含めて検討してはどうか。	[意見を参考とする] 今年度、市民との協働により総合計画の周知を行うこととしており、その具体的なPR手法等については今後検討を進めます。
2		全体	市長選挙で市長が変わった場合に、総合計画の見直しはするのか。また、見直しは可能なのか。	[その他] 総合計画の策定は、市議会の議決を必要とすることから、市長の変更によりすぐさま改正が必要となるものではありません。なお、手続き上、議案の提出については可能ですが、市議会も含めたこれまでの総合計画の策定プロセス等を考慮する必要があると考えています。
3		はじめに	まちづくり構想全体をとおして、 <u>市民、事業者、行政をまとめて「わたしたち」と表現しているが、市内在住でない人にスポットが当たっているようで違和感がある。</u>	[その他] 国においても、定住人口だけでなく関係人口も重視されているなか、また、自治のまちづくり条例の考え方を踏まえるなかで、まちづくりにかかわる主体を「わたしたち」と表現し、様々な方とともにまちづくりを進めていくことを意図しています。
4		社会潮流	P.14「(3)脱炭素社会の実現に向けた機運の高まり」のなかで、「一人ひとりがそれを意識し、」の部分「一人ひとりがそのことを意識し、」に修正してはどうか。	[意見を反映する(修正)] ご指摘のとおり修正しました。
5		社会潮流	P.15「(5)産業構造・労働環境の変化」の産業構造やP.68「施策13 都市機能・住環境」に「戦略的な交通政策」で、物流の企業が進出していることを踏まえた、交通量の変化や影響について具体的な議論は行われたのか。	[その他(指摘なし)] 個別具体の議論は行っていませんが、社会潮流のなかで、産業構造の変化や市内における物流倉庫の進出などの工場跡地の利活用などについての本市の現状について共有しています。
6		社会潮流	P.16「(6)災害対策など安全・安心への意識の高まり」のなかで、「30年以内に」の部分「今後30年以内に」に修正してはどうか。	[意見を反映する(修正)] ご指摘のとおり修正しました。
7		社会潮流	「(2)多様化するコミュニティの形態と地域におけるつながりの希薄化」のなかで、社会福祉協議会の加入率の推移を記載しているがその意図は。また、このグラフを使うのであれば、6行政区それぞれの率を示してはどうか。また、社協の加入率を上げることを目的とするのか、別のコミュニティに舵を切っていくのか。地区別の特徴についてももう少し触れるべきではないか。	[その他] 社会全体における地域のつながりの希薄化を表現している部分であり、6地区の加入率を表すことでより個別的になることから、全市の社会福祉協議会加入率とします。本市としては、社会福祉協議会をはじめとした地域におけるつながりの強化や活動の活性化に向けた取組を進めます。
8		ありたいまち	<u>具体的な都市像を示すべきではないか。計画全体に重みがないように感じる。</u>	[その他] これまで、市民と意見交換するなかで、その意見をひとまとめにすることは難しいことから、審議会のなかで議論を重ねてきた結果、「ありたいまち」を「ひと咲きまち咲きあまがさき」としました。ただ、それだけでは、 どのようなまちの姿をめざすのかがわかりづらいといった指摘もあったことから、5つの尼崎らしいありたいようすを定めるなどの工夫を行っています。
9		まちづくりの進め方	P.23 まちづくりの進め方のところで市の責務として「自治を支援」と記載があるが、その表現に非常に違和感がある。	[意見を反映する(修正)] ご指摘を踏まえ「わたしたちの持つ力がより発揮される基盤づくり」に修正しました。
10		まちづくりの基本的視点	地域共生社会の実現のなかで、「 <u>国籍、年齢、性別、障害の有無</u> 」という表現があるが、順序に意図があるのか。国籍が最初に来ることに違和感がある。	[意見を反映する(修正)] ご指摘を踏まえ「年齢、性別、障害の有無、国籍など」に改めました。

総合計画等協議会（4/11）での主な意見一覧

No.	区分	項目	意見概要	対応/理由
11	基本計画	基本計画	PDCAサイクルに関する記載があるが、事業を廃止することも選択肢にあるということが読めるように表現を工夫したほうが良いのではないかと。	[すでに盛り込み済み] PDCAサイクルのなかに、事業の振り返りを行い、その評価結果に基づいて次年度の予算編成につなげることから、事業の廃止についても含んで表現しています。
12		基本計画	各施策に設定している指標について、策定時の値の年度がばらばらになっているが、統一した考え方はあるのか。	[その他(指摘なし)] 総合指標、主要取組項目については、それぞれの基準値の年度を表現しています。各論については、各論の見方において、基準値の年度を説明しています。(イレギュラーのある指標については、個別に記載しています。)
13		基本計画	基本計画の構成で、施策体系、主要取組項目、施策の各論という順番になっているが、 <u>施策体系と主要取組項目の順番が入れ替えたほうが分かりやすいと思うがどうか</u> 。また、主要取組の連携イメージ(歯車)について、意図がわかり辛いので補足を入れてはどうか。	[意見を反映する(追加)] <u>主要取組項目のなかに、「よりさまざまな施策を連携させる」という表現があることから、事前に施策体系を示す方が読みやすいと考えており、現在の構成にしています。なお、主要取組の連携イメージ(歯車)についてはコラムを作成し、意図が伝わりやすくなるよう修正しました。</u>
14		主要取組項目①	P.38 就学前教育の研究・実践の取組やインクルーシブ教育システムの推進の取組と、若者の主体的な活動の記載について段落が分かれている。 <u>就学前教育やインクルーシブ教育システムにも主体性がかかるように表現すべきではないか。</u>	[すでに盛り込み済み] 就学前教育やインクルーシブ教育システムにおいて、主体性の観点は含まれています。
15		施策3	タウンミーティングの意見に、 <u>尼崎城を活用した郷土教育という内容があるが、施策3「学校教育」には記載がないので、そちらに反映させるべきではないか。</u>	[すでに盛り込み済み] 郷土教育については、 <u>施策1「地域コミュニティ・学び」の展開方向(3)①「尼崎の歴史に触れ学ぶ機会の拡充と魅力の発信」</u> に記載しています。
16		施策5	重層的支援の推進については、令和4年度から新たな組織を作って取組を進めているため、現状(成果)や主な課題にしっかり記載したほうが良いのではないかと。	[意見を反映する(修正)] ご指摘を踏まえ、令和4年度より重層的支援を推進する組織を設置し、取組を進めている旨を記載しました。
17				
18		施策5	<u>代表指標の2つが支える側の視点からの指標になっており少し違和感がある。</u>	[意見を参考とする] 指標については、審議会でも議論を重ねるなかで、 <u>身近な地域の抱える課題を我が事として捉え、地域の支援関係者や様々な支援機関がスムーズに連携できているかという視点で代表指標に設定しています。支えられる側の視点に立った指標については、その必要性も含めて施策評価で検討</u> していきます。
19		施策6	障害者の「害」の文字をひらがなで表記するよう要望する。	[その他] 障害者の表現方法については、 <u>施策6「障害者支援」の分野別マスタープランである「尼崎障害者計画」の検討に際し、当事者団体と協議を行うなかで決定したものであり、変更は行わないこととします。</u>
20		施策9	主な課題2つ目で成年年齢は令和4年4月から引き下げられているので、「 <u>成年年齢が引き下げられた</u> 」が正しい表現ではないかと。	[意見を反映する(修正)] ご指摘のとおり表現について修正します。
21		施策11	<u>市場のあり方</u> についてが触れられていないので、記載があったほうが良いのではないかと。	[意見を参考とする] 市場のあり方については、直接表現はしていませんが、 <u>施策11「地域経済・雇用就労」のなかの主な関連計画に『「今後の市場のあり方」基本方針』</u> を記載しています。
22	その他	参考資料①	市民意識調査の調査対象を3,000人としているが、対象者数の根拠は。また、400サンプルの妥当性は。	[その他] アンケートの調査結果については、統計学上400のサンプルがあれば有意であるということから、市民意識調査では、400のサンプルを確保するとともに、出来るだけ多くの回答を得られるようにということで3,000人を調査対象としています。